

オキサイド100選に選出

経産省 結晶製造で市場開拓

経済産業省のグローバルニッパトップ(GNT)100

選に、単結晶製造のオキサイド(北杜市武川町牧原、古川保典社長)が選ばれた。光の波長を変換する能力を持つ結晶を製造する分野で、高い国際競争力が評価され

た。GNT100選は、国際市場の開拓に取り組んでいる企業のうち、ニッチ(隙間)分野で高いシェアを確保している企業100社を選出。その

取り組みを広く紹介することで、海外展開を目指す企業の

事例研究に役立ててもらおうと、初めて行った。

機械・加工部門に52社、素材・化学部門にオキサイドを含む20社、電気・電子部門に15社、消費財・その他部門に13社の計100社を選出。認定企業には、経産省が日本再興戦略に基づいた支援策を検討している。県内で選ばれたのは同社のみだった。

オキサイドは、物質材料研究機構(つくば市)が開発し

た結晶育成技術の実用化を目指して2000年に設立。世界で初めて非線形結晶の量産化に成功した。10年にソニーからDUVレザの事業譲渡を受け、新製品の開発にも取り組んでいる。

〈渡辺真紗美〉